

中項目／基本的視点	小項目／施策	事業施策	目的・内容
1 農業振興の目的「50年先にも府中に農地・農業を残す」			
(1) 農地を残す	01 生産緑地の新たな指定を行う	継続的な生産緑地の指定	生産緑地の追加指定を実施 都市計画生産緑地地区指定要綱を見直し、追加指定の推進を図る 生産緑地追加指定 H24 約0.98ha、H25 約2.47ha
		農業者に対する生産緑地制度のPR	農業委員会だより(年3回発行)や地域座談会において周知
	02 まとまりのある農地を残す	相続時の農地保全のあり方・優良農地指定の検討・研究	農地保全のあり方等について検討研究 ⇒実施に至らず
		市民公募債の仕組みづくりの研究	⇒実施に至らず
		農地・緑地購入のための基金創設の研究	緑化(環境)基金の活用方法を検討 ⇒実施に至らず
	03 農地を残すための税制度の改正を求める	国や東京都に対する農地保全のための税制改正の要望	都市農地保全推進自治体協議会や東京農業会議を通じて国や都への要望活動を実施
	04 農地周辺の環境を保全する	農業者が行う環境対策事業の支援	生産緑地地区指定農地等振興事業・農業経営改善対策事業の支援(農器具購入や施設整備に対し補助)
	05 農地の効用を市民にPRする	イベント開催における都市農業のPR	市民農業大学(そば・秋野菜コース)、農業まつり、農産物品評会(6部門)等の実施
		学校教育における都市農業への理解促進	学童農園(農業体験)を実施 H24 21校、H25 21校
	06 農地の有効活用を図る	農業者への市民農園事業や体験農園事業の周知徹底・制度推進	市民農園の提供 H24 1,779区画、H25 1,718区画 体験農園 H24 5園、H25 5園 体験農園については区画整理事業の補助
	07 水田・農業用水を残す	灌漑用水の管理支援	用水組合のポンプ運転電気料などの支援及び施設修繕費用の支援 H24 4組合、H25 4組合
		水田を残すためのソフトパワー活用のあり方の検討	市民の参画による公園づくりを検討 市民団体への委託による田んぼの学校事業の開催 H24 4回、延べ369人、H25 5回 延べ526人
	08 相続税が発生しても農地が残る経営を進める	地域座談会の開催	農業委員会と農業協同組合との協力による地域座談会の実施
		相続税などの農地に関する相談体制の充実	農業委員の担当地域での相談対応

現状の施策の状況

資料 1

中項目／基本的視点	小項目／施策	事業施策	目的・内容
(2)担い手の確保・育成	09 農業後継者を確保・育成する	農業後継者連絡協議会の活動の支援	農業後継者連絡協議会の実施する研修や講習に補助
		東京都農林水産振興財団等関係団体の事業の周知	農林水産振興財団等関係機関が行う研修事業に対し農協と連携し周知。
	10 女性農業者の参画を進める	女性農業従事者との意見交換会の実施	地域座談会に女性農業者の参加も呼びかけた。 ⇒女性の参加なし
		女性農業委員の登用についての検討	農業委員の改選に伴う女性農業者の登用について関係機関と協議 ⇒女性の農業委員0人
	11 市民ボランティアの育成・活用	援農ボランティア制度の支援	援農ボランティアの周知、募集、斡旋 活動人数 H24 116、H25 128人
		グループ単位の援農ボランティアの受け入れ体制の研究	大学サークルや市民団体の援農活動 H24 3団体、H25 3団体
	12 省力化栽培を支援する	うね売り事業の推進	うね売り事業の推進 ジャガイモ H24 267区画、H25 287区画 ネギ H24 265区画、H25 263区画 玉ネギ H24 52区画、H25 0区画
		農作業の受託団体の育成	⇒実施に至らず
	13 生産技術の向上を支援する	農産物品評会の開催	農産物の生産技術の向上のため6部門(農産物、花卉、夏野菜、梨立毛、梨、植木・盆栽)の品評会を開催 H24 6部門、H25 6部門
		東京農工大学や東京都などと連携した技術講習会等の開催	東京都農業改良普及センター職員による生産団体への指導の実施
		農業指導員制度のしくみづくりの研究	⇒実施に至らず
	14 認定農業者やエコファーマーを支援する	認定農業者制度の拡充	市や東京都、農業会議、農協など関係機関による支援による支援 認定農業者 H24 64組 104人 H25 65組 106人
		認定農業者、エコファーマーに対する支援	農業経営改善事業として施設の設置費や農機具の購入費の補助 H24 10件、H25 17件

現状の施策の状況

中項目／基本的視点	小項目／施策	事業施策	目的・内容
(2)担い手の確保・育成	15 活力ある農業経営体を育成する	農産物特産化の支援	直売所マップの作成 H24 2,900部、H25 2,900部 府中観光協会の推奨品への認定の支援 認定品目 6品目
		地元の商業者などとの連携による新たな商品開発への協力	⇒実施に至らず
(3)魅力ある農業経営の支援	16 経営に合った流通ルートを選べるようにする	小規模農家に対する直売所への出荷推進	直売所マップの作成による市民へのPR H24 2,900部、H25 2,900部 直売所(マップ掲載直売所数) H24 54か所、H25 57か所
		大規模農家に対する大型店等への出荷推進	⇒実施に至らず
	17 付加価値の高い経営の導入を支援する	府中産農産物における府中観光協会推奨品への認定の拡充	府中観光協会の推奨品への認定の支援 認定品目 6品目
	18 学校給食への出荷を支援する	学校給食への出荷者・出荷団体の支援	給食センター出荷の会の運営支援 会員数 H24 21人、H25 22人
		農産物の出荷規格や品種の統一、出荷拡大などの取組み	出荷組合と給食センター職員との意見交換会を実施 H24 1回、H25 1回 府中産農産物を使用 H24 18種 2.4t 7.3%、H25 18種 2.2t 6.2%
		学校給食における府中産農産物のPR	出荷団体による給食展の参加及び給食だより等による地元農産物の紹介 給食出荷の栽培農地への看板設置
19 個人の直売所での販売を支援する	直売所マップの作成	直売所マップの作成による市民へのPR H24 2,900部、H25 2,900部 直売所(マップ掲載直売所数) H24 54か所、H25 57か所	
	直売所用のぼり旗等の作成	⇒実施に至らず	
20 共同直売所の設置を支援する	共同直売施設の開設	平成17年度に府中駅前府中特産品直売所を開設 平成23年度に郷土の森観光物産館内に共同直売所を設置	
21 体験農園を拡大する	体験農園事業の拡大	農家の経営の一環として、体験農園施設整備への支援 農園数 5園 農業公園整備に向けた検討	

現状の施策の状況

資料 1

中項目／基本的視点	小項目／施策	事業施策	目的・内容
(3)魅力ある農業経営の支援	22 農業法人の設立を支援する	農業法人設立を目指す農業者の支援	⇒実施に至らず
	23 農業経営の基盤整備を支援する	認定農業者等経営改善対策事業の支援	認定農業者へ農業経営改善事業として施設の設置費や、農機具の購入費の補助 H24 10件、H25 18件 認定農業者数 H24 64組104人、H25 65組106人
	24 PR活動を積極的に行う	市ホームページや広報への情報掲載の推進	市広報の特集記事により、地産地消の推進をテーマに掲載するほか適宜市ホームページ等による情報掲載
		各種イベント時に府中農業の魅力をPR 登録メンバー制度によるメールマガジンの発行の検討	農業まつりや都市農地保全自治体フォーラムなどの開催時によるPR ⇒実施に至らず
(4)循環型農業の推進	25 循環型農業の仕組みをつくる	循環型農業普及事業の推進	有機堆肥の配付 H24 92t 134人、H25 70t 210人 緑肥の配付 H24 91.2kg 33人、H25 70.1kg 40人
	26 堆肥センター(仮称)を設置する	市内で発生する落ち葉や剪定枝などの有機資源を堆肥化し、保管する堆肥センター(仮称)の設置を検討	⇒実施に至らず
	27 リサイクル堆肥の利用を拡大する	リサイクル堆肥の成分分析の実施	生産した堆肥用資材について、東京都家畜保健衛生所に年間3件を依頼し、13項目の分析を行った。
	28 リサイクル堆肥を利用した農産物の普及拡大を進める	リサイクル堆肥で栽培した農産物を給食で使用する仕組みづくりの推進	市内小学校に堆肥化装置を設置し、給食残渣や副資材である籾殻・チップ等を投入し、攪拌することにより堆肥用資材を生産している。 堆肥用資材は給食センター出荷農家に提供した。 年間給食残渣投入量 H24 3664.1kg、H25 2790.5kg 肥用資材生産量 H24 714.2kg、H25 390.2kg

中項目／基本的視点	小項目／施策	事業施策	目的・内容
2 府中農業の将来像「豊かな市民生活を支える府中農業」			
(1)安全で豊かな食生活を支える府中農業 (産業・健康)	29 良質な農産物を供給する	有機質堆肥やチップ堆肥の配布	有機堆肥の配付 H24 92t 134人、H25 70t 210人 緑肥の配付 H24 91.2kg 33人、H25 70.1kg 40人 市内公園から排出される選定枝のチップ化は、原発事故以降中止。
		学校給食残渣の堆肥化の推進	給食残渣を堆肥化し、その堆肥を農業者へ提供し、育てた野菜を再び給食の食材として利用することで、一連の食の循環を構築している。
	30 安全な農産物を供給	栽培講習会の推進	関係機関が実施している講習会に各生産団体が参加している。 特別栽培認定者 H24 2名、H25 0名
		トレイサビリティ制度 (東京都生産情報提供食品事業者登録制度)の推進	東京都生産情報提供食品事業者登録制度 登録者11人
	31 身近な場所で府中産農産物が購入できるようにする	共同直売所の設置	平成17年度に府中駅前に府中特産品直売所を開設 平成23年度に郷土の森観光物産館内に共同直売所を開設
		府中産農産物が購入できる場所のPRの推進	直売所マップを作成 H24 2,900部、H25 2,900部 市ホームページにてPR
32 消費者と情報交換の場を設ける	消費者との情報交換の機会を拡充	⇒実施に至らず	
(2)緑豊かな環境づくりを支える府中農業 (環境・景観)	33 農業用水を活用した水辺づくりを進める	用水路の活用の推進	学童農園事業で稲作を実施 H24 8校、H25 8校 用水路の水質調査及び生き物調査を実施
		農のある風景づくりの推進	循環型農業普及事業として、レンゲ等緑肥を農業者へ配布 H24 91.2kg 33人、H25 70.1kg 40人
	34 緑豊かな田園風景を残す	田園風景の保全の推進	⇒実施に至らず
		農のある風景づくりの推進	農の写真コンクールを実施 H24 農業まつり、H25 農業まつり
35 ヒートアイランド現象を緩和する	用水の必要性のPR	⇒実施に至らず	

現状の施策の状況

中項目／基本的視点	小項目／施策	事業施策	目的・内容
(3)安全で快適なまちづくりを支える府中農業(防災)	36 災害に強いまちづくりを進める	災害時における農地の役割を明確化する	⇒実施に至らず
	37 災害時の避難場所として位置づける	災害時の避難場所としての防災協定の推進	⇒実施に至らず
	38 災害時に農産物の優先供給を受けられるようにする	災害時に農産物の優先供給の推進	農業生産団体との「災害時における農産物の優先供給に関する協定」を締結 H24 7団体、H25 7団体
	39 農業用水の活用を検討する	農業用水の活用の検討	⇒実施に至らず
	40 仮設住宅用地などとして農家の理解を得る	仮設住宅用地としての農地利用の検討	⇒実施に至らず
(4)子供たちの成長を支える府中農業(教)	41 学校給食への出荷を充実する	学校給食への府中産農産物の出荷の拡充	給食センター出荷の会の運営支援 会員数 H24 21人、H25 22人
	42 総合学習と連携する	教育関係との連携の推進	副読本の「郷土府中」に掲載の「府中の農業」による活用 農業まつりにおける小学校の児童による農産体験の成果発表
	43 学校農園を拡充する	学校農園の拡充	学童農園(農業体験)を実施 H24 21校、H25 21校
	44 自然とふれあう機会をつくる	子ども農業体験の推進	子ども農業体験事業の実施 H24 夏・秋野菜コース、プチ講座 H25 米づくり・秋野菜コース、プチ講座
(5)心ふれあう地域づくりを支える府中農業(地域コミュニティ)	45 農業を通じた市民のふれあいの場をつくる	市民農園の提供	市民農園の提供 H24 1,779区画、H25 1,718区画
		体験型農園の提供(再掲)	体験型農園への運営補助 農園数 H24 5園、H25 5園
		市民農業大学事業の提供 農業公園整備に向けた検討	市民農業大学事業の実施 H24 そばコース、秋野菜コース H25 夏野菜コース、花と野菜コース 農業公園の検討
	46 身近な観光農園を整備する	観光農園事業の支援	直売所マップで摘み取り園の情報提供 マップ部数 H24 2,900部、H25 2,900部
	47 市民援農ボランティアの活躍の場をつくる	援農ボランティア導入の支援	援農ボランティアの活動支援 活動数 H24 116人、H25 128人

3 「前計画に盛り込まれた未実施事業」

	48 農業公園を設置する	農業公園の設置をする	用地取得の検討、他市の例を調査研究 ⇒実施に至らず
--	--------------	------------	------------------------------